



令和5年度 水道事業決算及び主な実施事業

1 収益的収支（維持管理の収支）

- ・令和4年台風第15号による断水及び浸水被害に伴う令和4年度の水道料金減免の影響がなくなったことに伴い、前年度より水道料金が増加した。
- ・清水谷浄水場排水処理機械設備（污泥脱水機）等更新工事による機械設備等の供用開始に伴い、減価償却費が増加した。

●R5決算額と予算額、R4決算額との比較（単位：百万円・税抜）

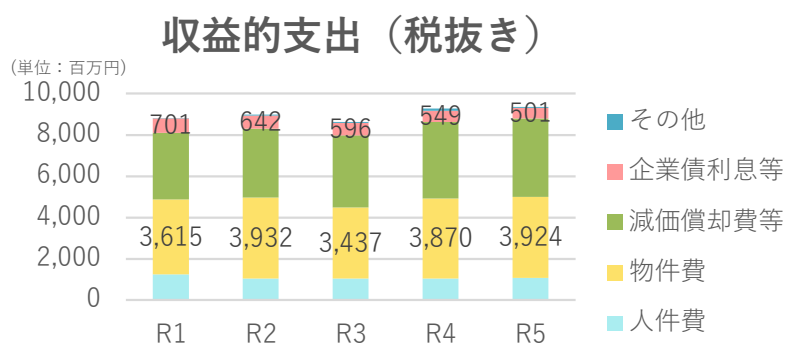
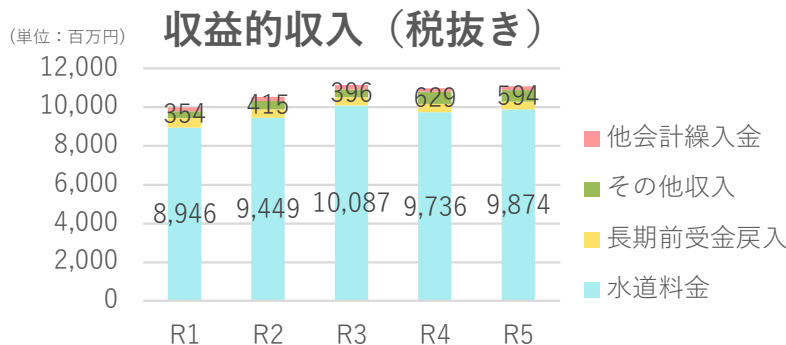
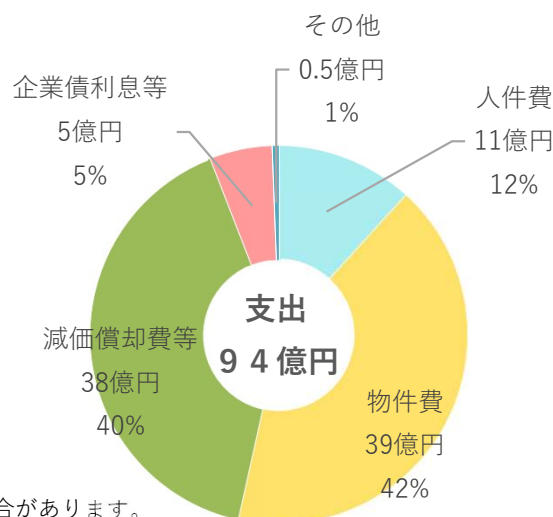
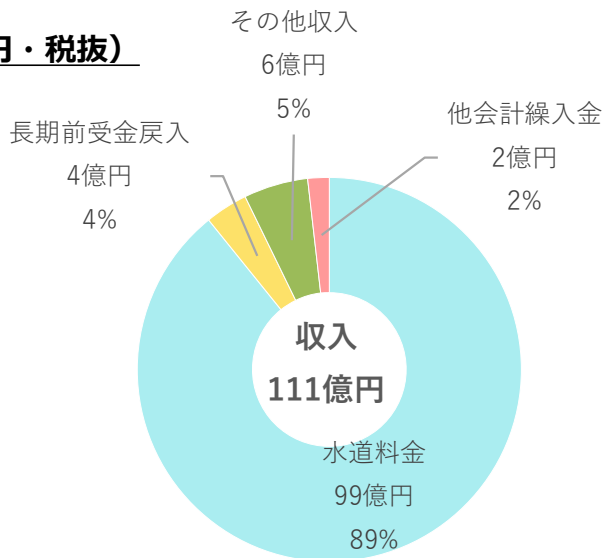
収益的収入	項目	予算額①	R5決算額②	R4決算額③	対予算②-①	対前年度決算額②-③
	水道料金	10,033	9,874	9,736	▲ 159	138
	長期前受金戻入	412	405	420	▲ 7	▲ 15
	その他収入	640	594	629	▲ 46	▲ 35
	他会計繰入金	214	201	194	▲ 13	7
	収入計	11,299	11,074	10,979	▲ 225	95
収益的支出	項目	予算額①	R5決算額②	R4決算額③	対予算②-①	対前年度決算額②-③
	人件費	1,118	1,089	1,057	▲ 29	32
	物件費※	4,180	3,924	3,870	▲ 256	54
	減価償却費等	4,164	3,795	3,707	▲ 369	88
	企業債利息等	502	501	549	▲ 1	▲ 48
	その他	124	47	99	▲ 77	▲ 52
	支出計	10,088	9,356	9,282	▲ 732	74
収支	経常損益	1,211	1,718	1,697	507	21

※物件費：動力費、修繕費、委託料等

※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、合計額や差引が一致しない場合があります。

※決算について、R4からR5への繰越額も含まれます。

※R4決算額：水道料金に水道料金減免分は含めずその他収入に含む。含む場合の水道料金は、9,934百万円となる。



<水道料金>

令和2年10月に実施した料金改定により増加していましたが、令和4年度以降は令和4年台風第15号による水道料金減免の影響を除くと人口減少に伴い減少傾向となっており、今後も減少が見込まれます。

<その他収入>

令和4年度は水道料金減免分に対する一般会計負担金により増加しています。令和5年度は前年度より減少したものの、承元寺取水口修繕に係る国庫補助金により過去5年間の中では高い値となっています。

<物件費>

物価高騰による動力費の増加や労務単価上昇による委託料の増加に伴い、増加傾向にあり、今後も増加が見込まれます。

<企業債利息等>

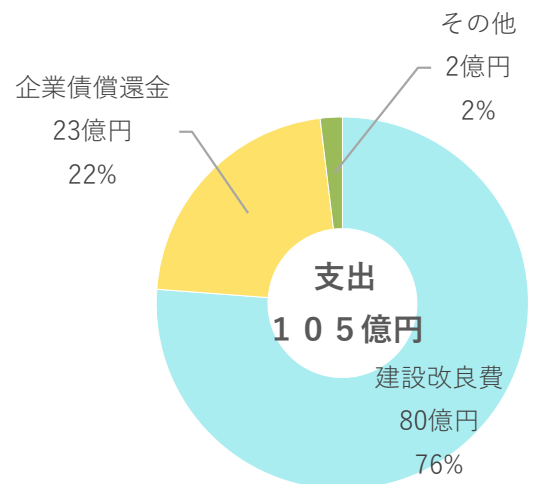
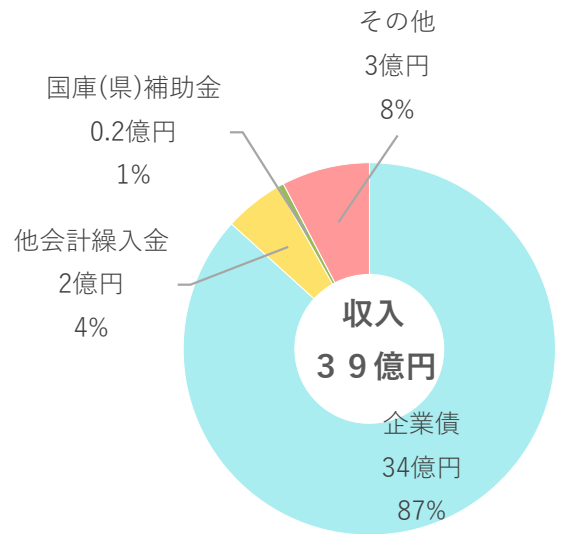
未償還残高の平均利率が低下していることにより、過去5年間減少し続けています。

2 資本的収支（建設投資の収支）

- ・建設改良費の増加に伴い、企業債発行額が増加し資本的収入が前年度決算と比較して増加した。
- ・企業債の借入は前年度より増加しているが、企業債償還金は減少している。

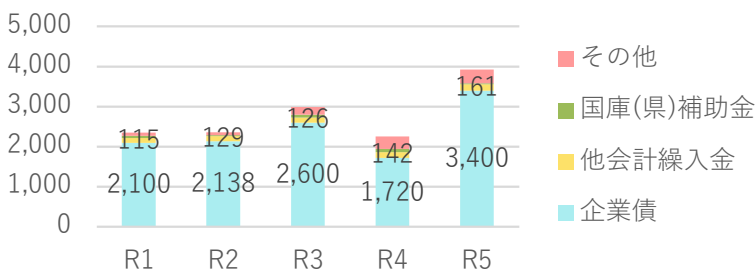
●R5決算額と予算額、R4決算額との比較（単位：百万円・税込）

資本的収入	項目	予算額①	R5決算額②	R4決算額③	対予算②－①	対前年度決算額②－③
	企業債	5,484	3,400	1,720	▲ 2,084	1,680
	他会計繰入金	161	161	142	0	19
	国庫(県)補助金	108	20	84	▲ 88	▲ 64
	その他	386	345	313	▲ 41	32
	収入計	6,139	3,926	2,259	▲ 2,213	1,667
資本的支出	項目	予算額①	R5決算額②	R4決算額③	対予算②－①	対前年度決算額②－③
	建設改良費	11,950	7,967	6,706	▲ 3,983	1,261
	企業債償還金	2,317	2,317	2,421	0	▲ 104
	その他	200	200	200	0	0
	支出計	14,467	10,484	9,327	▲ 3,983	1,157



※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、合計額や差引が一致しない場合があります。
 ※決算について、R4からR5への繰越額も含まれます。

（単位：百万円） 資本的収入（税込み）



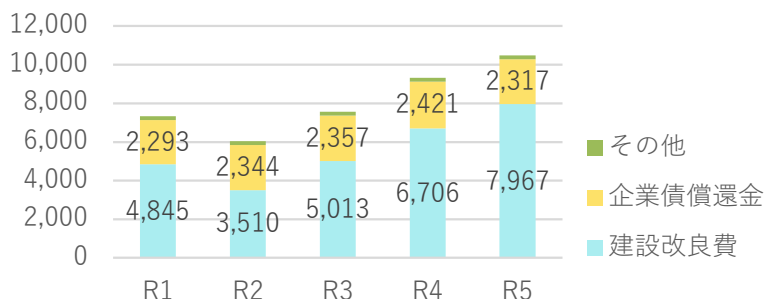
<企業債>

令和4年度は、対象事業費の決算額が減少したこと、充当率を下げたことにより大きく減少していますが、企業債の借入額は、建設改良費の増加に伴い増加傾向となっています。

<他会計繰入金>

令和3年度まで横ばいで推移していましたが、緊急地震・津波対策等交付金の増加で令和4年度及び令和5年度は増加しました。

（単位：百万円） 資本的支出（税込み）



<建設改良費>

管路更新事業の増加に伴い工事請負費が増加し、建設改良費が令和2年度から増加し続けているため、今後も増加が見込まれます。

<企業債償還金>

令和4年度までは増加していますが、令和5年度は、元利均等払いにおける元金の割合が減少したことにより減少しました。

3 主な事業

政策1 危機管理を強化する。

○重要な管・施設の強靱化（決算額 4.3億円）

- ・地震災害の被害を最小限にするとともに、迅速な対応により早期の機能回復が可能となるよう、基幹管路（重要な水道管）や重要な配水施設を耐震化

＜実施した主な事業＞

- ・水道管の減災対策 1.2億円（1.2km）、令和6年度への繰越 3.3億円
日本平公園整備事業に伴う送水管布設替工事（他1件）

＜成果指標：基幹管路の耐震管率＞

目標値	実績値	成果指標 達成状況
41.8%	41.8%	100%



日本平公園整備事業
（基幹管路の耐震化）

政策2 持続可能に管・施設を運用する。

○管・施設の老朽化対策（決算額 52.5億円）

- ・管の更新により、漏水による事故や濁水の発生を軽減
- ・法定耐用年数を超えた設備を適切に維持管理し、水道の給水停止を未然に防ぐ

＜実施した主な事業＞

- ・水道管の更新 48.7億円（28.0km）、令和6年度への繰越 22.3億円
葵区千代田五丁目外配水管布設替工事など 計46件
- ・水道施設の更新 3.7億円（5箇所）、令和6年度への繰越 3.9億円
柳町取水場外5施設計測設備更新工事など 計5件

＜成果指標：管路の更新率(年間)＞

目標値	実績値	成果指標 達成状況
1.0%	1.1%	110%



老朽化した水道管
の布設替えの様子

○安全でおいしい水の安定的な供給（決算額 2.0億円）

- ・水質への不安を払拭する等のため、道路部分に残存する鉛製給水管を解消

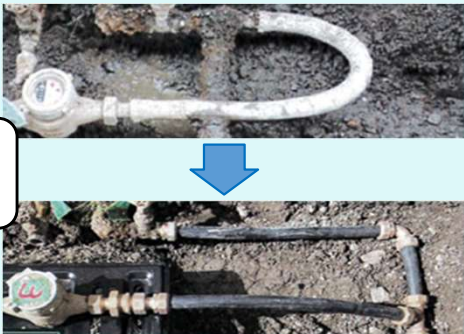
＜実施した主な事業＞

- ・鉛製給水管の更新 1.8億円
鉛製給水管更新修繕など 3,802箇所

＜成果指標：鉛製給水管率＞

目標値	実績値	成果指標 達成状況
6.0%	6.0%	100%

鉛製給水管
の施工更新
前後



政策4 お客様サービスを向上させる。

○接客・窓口サービスなどの充実

- ・多様化・高度化するお客さまニーズを的確に把握し対応することで、お客さまサービスの向上を図る

<実施した主な事業>

- ・上下水道事業検針・収納等業務委託 4.1 億円
- ・料金等徴収のキャッシュレス決済推進

電子マネー支払（LINE Pay・PayPay・auPAY・楽天ペイ・d払い）による請求書払い、銀行口座からの即時引き落とし（楽天銀行コンビニ支払サービス、PayB）5.5 億円（7.6 万件）

※令和5年度収納実績

<成果指標：キャッシュレス決済率（収納件数の構成比）>

目標値	実績値	成果指標 達成状況
75.76%	76.46%	100.92%



政策5 信頼される経営を確立する。

○財政の健全化

- ・企業債残高の適正な管理

目標どおり企業債残高を適正に管理している



447億円
（目標476億円）

